

挑戦、その先へ。



2026 年 10 月 30 日

各 位

株式会社 T & D ホールディングス
代表取締役社長 森山 昌彦
(コード番号：8795 東証プライム)

2027 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券含み損に関するお知らせ

2027 年 3 月期第 2 四半期末における有価証券の含み損を算出した結果、その総額が以下のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 対象となる有価証券

(A) 2027 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券含み損の総額	2,008,281 百万円
(B) 2026 年 3 月期の連結経常利益額 (A / B × 100)	257,191 百万円 (780.9%)
(C) 2026 年 3 月期の親会社株主に帰属する当期純利益 (A / C × 100)	138,968 百万円 (1,445.1%)

(注) 1. 「満期保有目的の債券」および「責任準備金対応債券」を対象としています。

2. 対象有価証券の帳簿価額 7,003,514 百万円 (うち満期保有目的の債券 723,298 百万円)
(うち責任準備金対応債券 6,280,215 百万円)
時 価 4,995,232 百万円 (うち満期保有目的の債券 579,309 百万円)
(うち責任準備金対応債券 4,415,923 百万円)

2. 業績への影響について

2027 年 3 月期の通期連結業績予想 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日) につきましては、現時点では、2026 年 5 月 15 日に公表しました業績予想・配当予想から変更はございません。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、満期保有目的の債券および責任準備金対応債券は、保険負債に対応する資産として保有しております。金利が上昇した場合には、資産側の時価が減少する一方、対応する保険負債の経済価値も減少し、両者は相殺される関係にあります。このため財務の健全性に直接的な影響を及ぼすものではありません。

(ご参考)

- ・ 当社の第2四半期末は、9月30日です。
- ・ 2027年3月期第2四半期末における「満期保有目的の債券」および「責任準備金対応債券」の含み益および差引含み損益は、以下のとおりです。

(D) 2027年3月期第2四半期末の有価証券含み益の総額	403百万円
(E) 2027年3月期第2四半期末の有価証券差引含み損益の総額 (D - A)	△2,007,877百万円

以 上

【お問合せ先】 株式会社T & Dホールディングス 広報課 (tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp)